

～指導員資格取得者の増大～（研修課）

地域農業振興と地域活性化という大きな課題に対し、この課題解決に資する資格をそれぞれ営農指導員・生活指導員と位置づけ、営農生活部門のみならず信用・共済部門の職員へも積極的な資格取得を働きかけ、組織全体での資格取得者の増大を図っていきます。

また、「食と農」を基軸にした事業運営を行うため「食育ソムリエ」「食の検定」「日本農業検定」等の各種農業関連試験・研修に取組み、「食と農」に関する知識の習得に取り組んでいます。

指導員資格取得計画

(単位:名)

		累計取得者	平成27年度	平成28年度	平成29年度
営農指導員	計画	—	6	14	14
	実績	73	1	2	
" (上級)	計画	—	1	4	4
	実績	32	1	0	
生活指導員	計画	—	3	2	2
	実績	33	3	1	

⑧-⑯ 「助け合い」を軸とした地域貢献・ふれあい活動

～高齢者の交流の場作り～（生活福祉課）

ふれあい生活指導員を中心に地域のコミュニティ拠点となるべく「地域ミニデイサービス」を開催し、紙芝居、レクリエーション、手芸、体操等を実施し、高齢者の交流の場作りに取り組んでいます。

また組合員・地域住民の健康づくり・生きがいを支援するため、ウォーキング・ヨガ等の「健康体操教室」、野菜の摂り方や減塩、低カロリー料理講習の「健康料理教室」を開催するとともに、健康寿命を創造する「JA健康寿命100歳プロジェクト」啓発活動として、JA共済レインボー体操、歯(し)あわせ体操の普及、「歯っぴーサポーター」の養成に取り組んでいます。

地域貢献・ふれあい活動計画

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ミニデイサービス開催	計画	—	14回	14回	14回
	実績	16回開催	20回開催	21回開催	
認知症サポーター養成	計画	—	140名	140名	140名
	実績	250名養成	234名養成	215名養成	
3B健診受診	計画	—	—	—	250名
	実績	—	—	161名	

～認知症ケアの啓発活動～（生活福祉課）

組合員・地域住民が高齢になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを支援するため、組合員・地域住民を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症サポーターを養成します。

また、超高齢社会を迎え、介護ニーズの高まりから、女性層を中心に家庭内における身近な介護技術の習得を目的として「車椅子の移乗の方法講習会」「高齢者のための口腔ケア」「骨粗しょう症予防カルシウム料理教室」等の介護技術講習会を開催しています。

～3B健診～（生活福祉課）

組合員の健康の維持増進を図るため、「認知症や物忘れ、動脈硬化による脳梗塞や心筋梗塞、転倒骨折からの寝たきり」の予防を目的に、3B健診（認知症・血圧脈波・骨粗しょう症検査）を実施し、「早期発見・早期予防と早期治療」に結びつけるとともに、離れて暮らすご家族に、3B健診結果のお知らせ「健康お便り」を通じて安心をお届けしています。

※3B健診とは、次の3つの検査項目の頭文字Bを表しています。

- 認知症検査 ⇒ 脳：Brain (ブレイン)
- 血圧脈波検査 ⇒ 血圧：Blood pressure (ブラッド・プレッシャー)
- 骨粗しょう症検査 ⇒ 骨：Bone (ボーン)

⑧-⑰ 中山間地域における金融移動店舗車の運行

～にっしい号～（事務管理課）

中山間地域における交通弱者等に対し、金融サービスの提供策として、平成25年度より金融移動店舗車「にっしい号」を運行しており、機動的な金融店舗として機能しています。

過疎化が進む地域でも支店周辺と変わらない利便性を確保しながら、より多くの方に利用いただけるよう停留箇所も適宜見直して運行します。

にっしい号運行実績

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
停留箇所	50箇所	50箇所	50箇所
利用者数	13,298名	12,928名	12,115名
取引件数	24,561件	28,110件	26,031件